

# 富山経協



ユリノキ (解説・14ページ)

## CONTENTS

- 2 第66回定時総会、講演会・座談会 (報告)
- 4 政策委員会 (報告)
- 5 新会員紹介
- 6 TOP INTERVIEW  
富山育英センター 片山浄見社長
- 8 調査報告  
2011年春季労使交渉の状況 (中間集計)
- 10 業務日誌
- 10 Keikyo行事レポート
- 11 参加者NOTES
- 14 会員の動き
- 15 景況指標
- 16 INFORMATION (事業案内)
- 18 おしらせ・行事予定

# 第66回 定時総会



稲垣会長挨拶



第66回定時総会は、5月9日(月)15時30分から、ANAクラウンプラザホテル富山・ASUKAの間で、407社(出席221社、委任状186社)によって開催された。

稲垣会長が議長となり、7議案について審議し、いずれも異議なく満場一致で承認された。続く理事会では、新役員承認、新会員承認を行った。

総会終了後、鳳の間で講演会・座談会「富山の現場から見る日本的経営：現場感の重要性」を開催した。一橋大学大学院名誉教授 野中郁次郎氏から「イノベーションを持続するリーダーシップ」と題して講演をいただき、その後、野中講師、稲垣会長、町野副会長、金岡教育委員会委員長長の4氏による座談会を行った。畠山直子氏がコーディネーターを務めた。

引き続きASUKAの間で、懇親会を開催。桑名副会長が乾杯の発声をし、武内副会長が中締めした。

## 総会議事

稲垣会長の挨拶の後、定款第12条により会長が議長となって、議事録署名委員に伊東潤一郎氏(株)アイティオ代表取締役)、黒田一紀氏(株)三田商会代表取締役)の2名を選任し、議事に入った。

### 第1号議案 2010年度事業報告

会議、各種事業活動、協力事業活動について、議案書記載のとおり実施した。

定時総会は5月27日に、理事会は書面理事会を含め4回、政策委員会は3回開催した。委員会活動は、情報交換、人脈づくりの場にするなど、活性化に努め、昨年度より200名多い1,143名に参加いただいた。教育関係では新しく「ビジネスパーソン基礎研修」を立ち上げ、見学会は会員企業を中心に企画するなどして、前年とほぼ同じ3,789名に参加いただいた。

### 第2号議案 2010年度収支決算承認の件

#### ・収支計算書

#### 事業活動収支

収入合計	94,718,791円
支出合計	99,839,066円
収支差額	△5,120,275円

#### 投資活動収支

収入合計	0円
支出合計	879,000円
収支差額	△879,000円

#### 財務活動収支

収入合計	0円
支出合計	1,209,600円
収支差額	△1,209,600円

事業、投資、財務の各活動収支差額を合計した当期収支差額は△7,208,875円となり、次期繰越収支差額は139,153,373円となった。

#### ・貸借対照表

##### 資産の部

流動資産	145,148,009円
固定資産	59,228,108円
資産合計	204,376,117円

##### 負債の部

流動負債	7,036,340円
固定負債	10,666,000円
負債合計	17,702,340円

資産合計から負債合計を引いた正味財産合計は186,673,777円とな

った。

第2号議案に関し、監事の齊藤栄吉氏(株)富山銀行取締役頭取)から「内容は正確かつ妥当」との会計監査報告が行われた。

#### 東日本大震災義援金

第3号議案、第4号議案の審議に入るにあたり、稲垣会長より「3月11日発生した東日本大震災は、命、安全、生活、経済活動に、想像を絶する被害をもたらした。国難とも言える試練に直面し、国民全員が復興に全力で取り組んでいる。日本が誇る秩序ある団結と英知、勤勉を持ってすれば、必ずもう一度奇跡の復興を実現できると信じる。富山県経営者協会においても、震災発生後、県内経済5団体が連携し、緊急救援物資の提供を呼びかけ、被災地の皆様に、水、食糧、医薬品などの必要物資をお届けすることができた。この場を借りて、会員皆さまのご協力に感謝申し上げます。

また、今後、被災地が復興し、日本が復活するためには何十兆円の資金が必要となる。これを踏ま

## 講演会

「イノベーションを  
持続するリーダーシップ」

野中郁次郎氏 ▶



「富山の現場から見る日本的経営：  
現場感の重要性」

## 座談会



えて、4月5日の政策委員会（4頁掲載）において、当協会会員425社の総意として、1,000万円の義援金を贈ることを決議し、4月7日、日本赤十字社に寄付いたしました。緊急を要するため、政策委員会の決議を持って行ったが、あらためてこの総会において追認いただきたくお諮りする」と説明があり、義援金について異議なく満場一致で追認された。

### 第3号議案 2011年度事業計画 (案) 審議の件

多様化する会員ニーズに対応し、経営課題の研究・広報活動、きめ細かな教育・研修をはじめとする事業の展開、情報交換を行い、会員企業の更なる繁栄につなげるため、以下の事業活動を行う。

①企業の存続なくして雇用はありえない。このデフレスパイラルの環境下においては個々の企業の経営努力には限界があり、緊急雇用対策などの公的扶助制度を会員企業が有効に活用できるよう広報活動などの支援を進めていく。

- ②企業の繁栄の源泉は究極的には人材力である。会員企業各社の実情に適合し、そこで働く人がより生きがいを感じる人事処遇制度の実現に向けての支援を強化する。
- ③単独の活動には限界がある。行政並びに他の経済団体との連携を通して、当協会の各種事業の強化と充実を図っていく。
- ④協会としてのあるべき姿を目指す。一般社団法人への移行に向けての改革を逐次進めると同時に、会員増強と会員相互協力の場である委員会活動への各社担当責任者の参画を促進していく。

### 第4号議案 2011年度収支予算 (案) 審議の件

#### ・収支予算書

事業活動収支	
収入合計	97,920,000円
支出合計	117,140,000円
収支差額	△19,220,000円
投資活動収支	
収入合計	5,444,000円
支出合計	100,000円
収支差額	5,344,000円

#### 財務活動収支

収入合計	0円
支出合計	1,210,000円
収支差額	△1,210,000円
当期収支差額△15,086,000円	
前期繰越収支差額	139,259,269円
次期繰越収支差額	124,173,269円

### 第5号議案 一般社団法人移行に伴う新定款(案) 審議の件

- 一般社団法人への移行に伴い、
  - ・名称を「一般社団法人富山県経営者協会」とする。
  - ・理事は、8名以上15名以内とし、会長、副会長、専務理事が就任し、その責任を明確にする。
  - ・監事は監査機能強化のため4名に増員し、うち1名を公認会計士とする。
- 今後、9月に県への移行申請、認可後、来年4月に移行登記を行う予定で進める。

(4頁へつづく)

## 第6号議案 理事及び監事選任の件

定款第8条第1項に「当協会の役員任期は2年」と定めており、本年は役員改選の年に当たる。定款により、本総会において、理事100名以上110名以内、監事3名以内の選出について、執行部案の理事106名、監事3名が示された。なお、理事の任期は一般社団法人登記日の前日までとする。監事の任期は、一般社団法人移行後も引き続き監事となるため、新法人移行後の最初の役員改選時期に合わせて3年とする。

## 第7号議案 一般社団法人移行に伴う理事及び監事(案)審議の件 新法人移行後の最初の理事9名

と最初の監事1名の案が示された。なお、理事、監事の就任予定日は一般社団法人登記の日となる。

総会に先立ち、昨年の総会以降の叙勲受章者が、稲垣会長から紹介された。

### <旭日小綬章>

桑名 博勝 殿  
(富山地方鉄道株  
代表取締役会長)

姫野 貞夫 殿  
(株姫野精工所  
代表取締役会長)

### <藍綬褒章>

生駒 晴俊 殿  
(日本海シーライン開発株  
代表取締役社長)

## 理事会議事

新役員体制として、以下が満場一致で承認された。

会 長 稲垣晴彦氏  
副 会 長 田中一郎氏、武内繁和氏、綿貫勝介氏、高田憲一氏、桑名博勝氏、町野利道氏、笠井千秋氏  
専務理事 佐藤 登氏  
常任理事 66名を互選  
相 談 役 川田忠樹氏、杉野芳宏氏、金井昌一氏  
常任顧問 荒井久夫氏、稲澤善之助氏

さらに6社の入会が満場一致で承認された。(5頁参照)

## 4 月 度 政 策 委 員 会

4月5日(火)、富山第一ホテル「橘の間」で、稲垣会長はじめ副会長、常設委員長10名が出席して、政策委員会を開催した。

国民生活が激変するなかで、地域経済を担う各企業の存続・発展をサポートするため、2011年度事業計画について活発な審議を行った。冒頭に、東日本大震災で犠牲になられた方々に黙祷を捧げた。

### 東日本大震災義援金

この度の大震災で被災された方々並びに被災地復興のための義援金について審議し、協会会員の総意として1,000万円を日本赤十字社に寄付することを決定した。2011年度予算に計上し、今年度定時総会で追認を受けることとした。

### 公益法人制度改革

2012年4月の一般社団法人への移行に向け、今年度定時総会で、新しい定款案を審議承認いただき、新法人への移行を9月に富山県へ申請する。役員のうち、理事については、新法人の理事は一般企業の取締役にあたるため、理事会への代理出席や委任状による議決権行使ができない、また理事の利益相反



取引等の規制があることなどから、8名以上15名以内とし、監事は4名以内とする。今後とも、関係行政の指導を受け、適切に進めていくこととした。

### 委員会活動

経営特別委員会では、会員企業の協力により、経営者の「組織」に対する考えと、委員企業で実際に行っている組織活性化への取り組み・仕掛けをまとめた小冊子「企業組織のあり方」を発行する。教育委員会、環境委員会、人事・労務政策委員会でも、引き続き研究部会活動を充実させ、情報提供を行っていく。

## 新委員長の紹介

### 総務委員会

武内プレス工業株式会社  
代表取締役社長

武内 繁和



### 教育委員会

株式会社インテック  
代表取締役社長

金岡 克己



## 新会員紹介

(五十音順)

### ■ 多田薬品工業株式会社

所在地 高岡市波岡25  
代表者 代表取締役社長  
多田 誠一郎  
創業 1905(明治38)年8月  
資本金 4,800万円  
従業員 49名  
事業内容 化学工業薬品等卸売



### ■ 株式会社 能 作

所在地 高岡市戸出栄町46-1  
代表者 代表取締役社長  
能作 克治  
創業 1916(大正5)年  
資本金 1,000万円  
従業員 25名  
事業内容 銅、錫製品製造販売



### ■ 東ソー・ゼオラム株式会社

所在地 富山市岩瀬古志町2  
代表者 常務取締役工場長  
熊澤 信光  
創業 1938(昭和13)年11月1日  
資本金 5,000万円  
従業員 40名  
事業内容 合成ゼオライトの製造及び販売



### ■ 株式会社 マーカーワークス

所在地 滑川市開408  
代表者 代表取締役社長  
柴田 三洋  
創業 2004(平成16)年2月1日  
資本金 300万円  
従業員 8名  
事業内容 デザイン・印刷・各種名入れ加工請負、名入れギフト加工販売、酒類小売販売



### ■ 株式会社 東洋電制製作所

所在地 中新川郡上市町横越41  
代表者 代表取締役 片山 浩之  
創業 1967(昭和42)年3月  
資本金 9,460万円  
従業員 150名  
事業内容 各種電気制御装置の製作、販売



### ■ 松下電建株式会社 富山本店

所在地 富山市下大久保1491-3  
代表者 代表取締役 松下 泰文  
創業 1952(昭和27)年4月15日  
資本金 3,000万円  
従業員 26名  
事業内容 電気工事、建築工事、電気通信工事、土木工事、管工事、水道施設工事、消防施設工事



謹んで災害のお見舞いを申し上げます。

東日本大震災により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 夢を語り、意気に感じる 社員をいかに多く持つか

株式会社 富山育英センター 代表取締役社長  
学校法人 片山学園 理事長

片山 浄見氏



学習塾の富山育英センターが、富山県内初の中高一貫校「片山学園中学校・高等学校」を開校し、今春、東大へ3人、京大へ2人をはじめとする第1期生を送り出されました。

卒業した86人の生徒を見ると、6年前に比べ皆たくましく育ってくれました。当時、学習塾が学校を設立するのは異例のこと、資金難等から計画を凍結せざるを得な

い時期もありましたが、幾多のハードルを乗り越えられたのは、夢をあきらめなかったこと、スタッフをはじめ多くの方の理解と協力があったからこそです。

**塾を開設された経緯は？**

私は24歳でUターンし、営業の仕事をしていましたが、お客様から頼まれてお子さんの家庭教師を引き受けました。たまたま不登校気味だったのですが、立ち直って

くれたことがきっかけで教育者に目覚めました。一生懸命教えているうちに、生徒がどんどん集まりました。当時は学校で校内暴力、いじめ、登校拒否など色々な問題が起こり、問題児が多かった気がします。ゆとり教育も始まり、塾を頼ってくる人が多かったのです。

**一教える情熱のある人材採用一**

現在、北陸3県で学習塾、予備校を34校展開されています。経営者としてヒューマンパワーをいかに生かされていますか。

設立当時は経営よりも、助けを求め人を救うという一心で仕事をしてきました。2、3年後には塾が3、4カ所に増えたので、講師を採用しました。採用に当たっては、「熱心な人」「教育に情熱を持った人」「給料よりも子供を教えるのが好きな人」を優先しました。

**順調にスタッフが育ったということですか。**

一度危機があり、1988年12月に15人いた専任教師のなかから待遇に不満を持った3人が独立し、生徒が半減しました。私は生徒の家を1軒ずつ回り、保護者の皆さんに頭を下げて、復帰をお願いしました。残った教師には「自分が悪かった」と謝り、話し合いの上で待遇を決め、皆と再度頑張りました。それから少しずつ教師のやる気も、結果も出てきて、合格実績も上がり、石川県、福井県にも校舎を出すことができました。

**中高一貫校開設に当たっては、更に大きな壁を乗り越えられました。**

まず用地の確保で苦勞し、1998年に県の認可が出て寄付金を集めようとしたら、当時は不景気で各企業から十分に集まらず、資金面で断念。その時は茫然自失、入学

の確約までしていただいた親御さんへの約束すらできず、罪人呼ばわり。お金は全部返しましたが、そのままでは、自分だけでなく家族も社員も世間も全部欺くことになるので、生き恥をさらして再度挑戦することを決意し、関係者にお詫び行脚しました。社員にも「自分は一度死んだ人間だが、もう一度生まれ変わるので、ついてきてくれ」と言い、全員の気持ちを一つにすることができました。

8年程前から再び学校づくりを始め、皆と相談しながら、資金を蓄え、開校にこぎつけました。大事なことは、トップは絶対に逃げてはいけないということです。

**トップの思いを部下やスタッフに  
いかに伝えるかがカギですね。**

私は塾をつくったときから将来は学校もと思っていました。少子化のなかで生徒をもっていかれると、県内各学校からは猛反対を受けましたが、やはり経営者は“夢”です。夢を追い続けなければなりません。夢を語ることは、社員にとっての原動力になります。育英センターを何校つくるといった将来的ビジョンを語る。今、五番町幼稚園の理事長もしていますが、将来は小学校も大学もつくり、幼稚園から大学までの一貫教育を目指します。

— トップ自ら率先垂範 —

**昨今、政治家のリーダーシップが**

— 略 歴 —

1949(昭和24)年8月生まれ。富山市出身。青山学院大法学部卒後、会社員を経て、1977年富山育英センター設立。1989年育英予備校設立。1995年学校法人片山学園を設立し、富山コンピュータ専門学校等の理事長に就任。2005年片山学園中学校、2008年同高校を開校。

**問われていますが、経営者として  
どうお考えですか。**

明確なビジョンを示すことと率先垂範することが大事です。私は何でも体をはってやります。仮に予備校に生徒が少ないとなると、私も毎日予備校へ行き、直接生徒や親御さんたちと話をし、生徒獲得に努めます。どんな小さい仕事でも、教えること、親御さんの要望を聞き入れることなど、できる範囲であらゆることをしています。

**「熱血先生」のスカウトにも行か  
れるのですか。**

県内だけでなく、色々な学習塾などへスカウトに行きます。中高一貫校ができてから全国区になり、全国から人材が集まってきます。お陰様でこちらが選べる立場です。中高一貫校については生徒向け、教師向けのマニフェストを作って募集しました。

— 一切り込み隊長持つ —

**有能な社員に恵まれたとお聞きし  
ました。**

人事担当の森口外喜夫専務は、真に教えるのが好きな人材を採用してきました。角井真弓常務はお金の管理をしっかりしてくれる。橋本尚則前校長は、金沢へ出たときの切り込み隊長。社長がすべきことは、全体をしっかり見て判断すること。自分が先頭を走ることも大事ですが、自分の場所を留守にはしてはいけない。そこで大事な

のは切り込み隊長がいてくれるかどうか。社長が一人でやることは絶対にできません。幹部社員がいかに社長を盛り立てるかではないでしょうか。やはり、社長の方針を意気を感じて勤めてくれる社員を何人持てるかでしょうね。

**片山学園では「孝・恩・徳」を校  
訓にされています。**

親孝行の「孝」、恩を感じるの「恩」、自らを磨き「徳」を積んで世のため人のために尽くす。塾の精神です。一人ひとりの生徒を大切に、悩める子に救いの手を差し伸べてやる。ですから、塾の先生が学校で教えています。

常日頃、人がおいでになった時は生徒総出で出迎え、お見送りします。そういうもてなしの気持ちを大事にしないと、何気ない動作や気遣いが、人間関係を築くときには大切です。卒業生には、孝・恩・徳を備えてその分野でリーダーシップがとれる人間になってほしいです。そういう子が親になって自分の経験を生かして良い人材を育ててくれれば、世の中も良くなり、結果的に私らの教育の意味があるのではないかと思います。

#### 法人概要

##### 株式会社 富山育英センター

創 業：1977年10月

所 在 地：富山市新桜町6番22号

資 本 金：1億円

事業内容：学習塾の富山・金沢・福井育英センター、富山、金沢で育英予備校を運営。34校、生徒数約8,000人。

従業員数：170人(2011年4月1日現在)

売 上 高：27億円(2010年3月末実績)

グループ：学校法人片山学園(片山学園中学校・高等学校、富山コンピュータ専門学校、富山建築・デザイン専門学校)

U R L：http://www.toyama-ikuei.com/



正門をくぐると「孝恩徳」の校訓が出迎える

# 調査報告

## 2011年春季労使交渉の状況

### 1. 富山経協調べ

#### 県内企業回答・妥結状況

#### 31社加重平均1,503円、増減率0.56%

当協会は4月25日、「2011年春季労使交渉・県内企業業種別回答・妥結状況」の中間集計をまとめた。それによると、昇給額を集計可能な31社の妥結額加重平均は1,503円、増減率は0.56%となっている。回答数が昨年最終集計に比べ半数以下と少ないデータではあるが、単純平均でも昨年より下回っており、今回の東日本大震災が交渉の進捗並びに労使の判断に影響を与えているのではないかと推察される。(表1)

賃上げ等の実施状況について回答を得た34社の集計では、ベースアップを行った企業は6社であるのに対し、定期昇給のみ実施した企業が19社と多く、また定昇制度はないものの昇給は実施したとの回答が6社からあった。(表2)

(表1) 2011年 春季労使交渉・県内企業業種別妥結結果(加重平均)  
[中間集計-2011年4月25日現在] (社)富山県経営者協会

	2011年			2010年(最終集計)		
	社数 <sup>(社)</sup>	昇給額 <sup>(円)</sup>	増減率 <sup>(%)</sup>	社数 <sup>(社)</sup>	昇給額 <sup>(円)</sup>	増減率 <sup>(%)</sup>
全業種平均	31	1,503 (2,617)	0.56 (0.96)	72	2,395 (3,293)	0.91 (1.27)
製造業平均	16	1,790 (2,857)	0.63 (1.06)	42	3,094 (3,452)	1.18 (1.37)
非製造業平均	15	1,344 (2,361)	0.53 (0.85)	30	1,823 (3,070)	0.69 (1.14)

(注) ① 昇給額には、定期昇給等を含む。  
② ( )内は単純平均による数値、それ以外の数値は加重平均による。  
③ 2010年の数値は最終集計である。

#### (表2) 賃上げ等の実施状況

[中間集計-2011年4月25日現在] (社)富山県経営者協会

	1	2	3	4	5	6
	ペアのみ	ペア+定昇	定昇のみ	制度外昇給	不実施	その他
全業種	1 <sup>(社)</sup>	5	19	6	2	1
製造業	1	4	8	3	2	1
非製造業	0	1	11	3	0	0

#### ● 調査にご協力ください!

当協会では、現在、2011年春季労使交渉についての調査を行っております。会員の皆様におかれましては、交渉終了の段階でFAXにて速やかにご回答をいただきたく、よろしくお願いいたします。(労働組合がない場合でもご連絡をお願いします。)

最終集計結果は業種別に集計し、機関誌「富山経協」7月号でご紹介する予定です。

### 2. 日本経団連調べ

#### 大手企業業種別回答状況

#### 66社加重平均5,814円、増減率1.82%

日本経団連は4月20日、2011年春季労使交渉の「大手企業業種別回答状況」(加重平均)の第2回集計を発表した。

それによると、調査対象(21業種、大手249社)のうち18業種152社(61.0%)で回答(了承・妥結を含む)が示された。このうち、平均額がわかっている14業種66社の総平均は5,814円、増減率1.82%で、昨年の第2回集計結果(2010年4月23日発表、5,838円、1.81%)とほぼ同水準となった。(表3)

回答額の分布では、「5,500~6,000円未満」(10社、21.3%)が最も多く、次いで「5,000~5,500円未満」「6,000~6,500円未満」(各8社、17.0%)となっており、これら3区分をあわせると半数以上(55.3%)を占めている。

また、増減率の分布では、「1.50~1.60%未満」「1.90~2.00%未満」(各7社、14.9%)が最も多く、「1.80~1.90%未満」「2.20%以上」(各6社、12.8%)が続いている。(図4)

#### 中小企業業種別回答状況

#### 122社平均3,884円、増減率1.48%

日本経団連は4月27日、2011年春季労使交渉の中小企業業種別回答状況(加重平均)の第1回集計を発表した。

それによると、調査対象(17業種、原則従業員数500人未満の中小企業742社)のうち123社(16.6%)で回答(了承・妥結を含む)が示され、このうち平均額がわかっている122社の総平均は3,884円、増減率1.48%で、昨年の第1回集計結果(2010年4月23日発表、132社、4,028円、1.54%)と比べると、金額でマイナス144円、率でマイナス0.06ポイントとなった。

業種別にみると、製造業95社の平均は4,216円、増減率1.59%(2010年の第1回集計92社、4,376円、1.64%)、非製造業27社の総平均は2,720円、増減率1.09%(同40社、3,169円、1.26%)であった。

(表5)



# 〈中間集計〉

(表3) 2011年 春季労使交渉・大手企業業種別回答〔了承・妥結含〕一覧(加重平均)

[第2回集計—2011年4月20日現在]

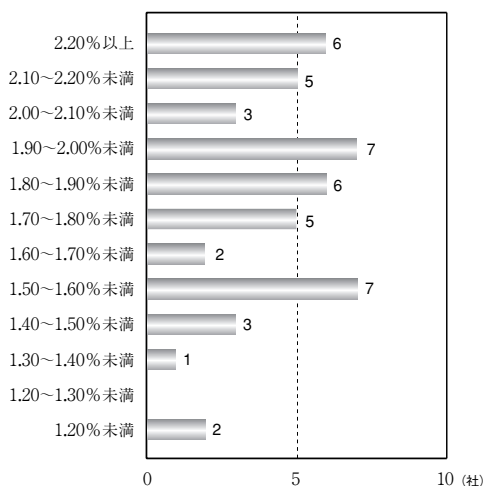
(社)日本経済団体連合会

業 種	2011年			2010年		
	社数	回答・妥結額	増減率	社数	回答・妥結額	増減率
非鉄・金属	6(社)	5,516(円)	1.81(%)	7(社)	5,407(円)	1.76(%)
食品	7	6,171	2.00	12	6,540	2.10
繊維	17	5,574	1.91	17	5,502	1.85
紙・パルプ	5	4,889	1.57	5	4,940	1.58
印刷	1	—	—	2	6,096	2.48
化学	2	5,879	1.94	3	5,880	1.91
ゴム	2	4,785	1.60	2	4,983	1.67
鉄鋼	11	3,819	1.21	11	3,742	1.17
機械金属	1	—	—	1	—	—
自動車	7	6,682	1.98	7	6,545	1.94
車輜	3	5,854	2.03	3	5,846	1.99
商業	1	(従) —	—	2	(従)5,956	1.54
私鉄〔JR〕	2	—	—	3	—	—
通運	1	—	—	1	—	—
総平均	66	5,814 (5,238)	1.82 (1.75)	76	5,838 (5,237)	1.81 (1.73)
製造業平均	62	5,849 (5,220)	1.83 (1.75)	70	5,743 (5,209)	1.79 (1.74)
非製造業平均	4	5,448 (5,523)	1.69 (1.71)	6	6,159 (5,561)	1.85 (1.69)

- (注) ① 調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要21業種大手249社  
 ② 18業種152社(61.0%)で回答が出ているが、このうち86社は平均金額不明などのため集計から除外  
 ③ 平均欄の( )内は一社あたりの単純平均  
 ④ (従)は従業員平均(一部組合員平均を含む)  
 ⑤ 集計社数が2社に満たない場合など数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる  
 ⑥ 上記回答・妥結額は、定期昇給(賃金体系維持分)等を含む  
 ⑦ 2010年の数値は、2010年4月23日付第2回集計結果

(図4) 増減率の分布(大手企業)

[2011年4月20日現在]



(注) 事情により19社を除く47社

(表5) 2011年 春季労使交渉・中小企業業種別回答一覧〔了承・妥結含〕(加重平均)

[第1回集計—2011年4月27日現在]

(社)日本経済団体連合会

業 種	2011年			2010年			
	社数	回答額 (了承・妥結含)	増減率	社数	回答額 (了承・妥結含)	増減率	
製 造 業	鉄鋼・非鉄金属	7(社)	4,510(円)	1.73(%)	10(社)	4,310(円)	1.64(%)
	機械金属	33	4,528	1.74	38	4,427	1.68
	電気機器	7	3,328	1.35	5	4,051	1.70
	輸送用機器	4	3,274	1.29	2	4,675	1.90
	化学	10	3,637	1.31	9	3,986	1.45
	紙・パルプ	3	2,986	1.13	3	5,017	1.99
	窯業	4	3,812	1.51	4	2,856	1.09
	繊維	10	3,433	1.43	5	3,645	1.50
	印刷・出版	4	5,115	1.65	3	5,282	1.72
	食品	6	4,047	1.56	7	4,419	1.64
その他製造業	7	5,557	1.77	6	5,484	1.74	
製造業平均	95	4,216 (4,020)	1.59 (1.53)	92	4,376 (4,135)	1.64 (1.57)	
非製造業	商業	9	3,468	1.48	13	3,863	1.50
	金融	1	—	—	0	—	—
	運輸・通信	11	1,424	0.68	14	1,622	0.78
	土木・建設	2	4,444	1.33	3	4,430	1.38
	ガス・電気	1	—	—	1	—	—
その他非製造業	3	1,862	0.89	9	2,999	1.37	
非製造業平均	27	2,720 (2,614)	1.09 (1.14)	40	3,169 (2,752)	1.26 (1.17)	
総平均	122	3,884 (3,709)	1.48 (1.45)	132	4,028 (3,716)	1.54 (1.46)	

- (注) ① 調査対象は、原則として従業員数500人未満、17業種742社  
 ② 17業種123社(16.6%)で回答が出ているが、このうち1社は平均金額不明等のため、集計より除外  
 ③ 上記回答・妥結額は、定期昇給(賃金体系維持分)等を含む  
 ④ 製造業平均、非製造業平均、総平均欄の( )内の数値は、単純平均  
 ⑤ 2010年の数値は、2010年4月23日付第1回集計結果  
 ⑥ 集計社数が1社の場合など数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる

## 業務日誌

2011年 3月 6日～ 5月10日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	政策委員会		4月 5日(火)	富山第一ホテル	10名
	環境委員会「情報交流会」	環 境	4月19日(火)	富山経協・会議室	11名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	4月20日(水)	富山経協・研修室	17名
	総務委員会「定例委員会」	総 務	4月21日(木)	富山電気ビル	9名
	経営特別委員会	経営特別	4月22日(金)	富山経協・会議室	12名
	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	4月26日(火)	富山経協・会議室	9名
	定時総会・理事会 講演会・座談会		5月 9日(月)	ANAクラウンプラザホテル富山	221名 339名
セ ミ ナ ー ・ 講 座	改善レベルアップセミナー～応用編～	教 育	3月15日(水)	富山商工会議所ビル	69名
	管理職マネジメント研修 (第7回)	教 育	3月16日(水)	富山県農業総合研修所	29名
	新入社員講習会	教 育	4月 4日(月)	富山県市町村会館	173名
	品質管理入門コース講座 (第1回)	品質管理	4月5、12、19、26日(火)	富山経協・研修室	35名
	品質工学実践講座	品質管理	4月15日(金)～	富山経協・研修室	16名
	管理職マネジメント研修 (第8回)	教 育	4月19日(火)	富山県農業総合研修所	29名

## 経営特別委員会

### ■2011年度 第1回委員会

4月22日(金)、2011年度第1回経営特別委員会を守山委員長はじめ委員12名が参加して富山経協・会議室において開催し、今年度の事業計画の審議を行った。

守山委員長より、本年度からコーセルさんとタカギセイコーさんが加わり、13社で委員会を構成することとなった、4月5日開催された政策委員会では2010年度実績

並びに2011年度計画を報告し承認された。本日は「企業理念見学会」と「企業組織のあり方」の本年度小テーマについてご審議をいただきたいとの挨拶があった。

引き続き事務局より、2010年度富山経協の実績、経営特別委員会2011年度事業計画について説明後審議を行い、「企業理念見学会」については、①研究テーマにこだわらず、企業独自の取り組み事例を紹介してはどうか、②経営幹部

層が参加する機会なので意見交換の場を設け、全員が参加し議論できるようにしてはどうか。「小テーマ」については、③見学会の骨子を決めその内容に応じて小テーマを決めたほうが良いのではないかなどの意見が出た。

この審議を基に「企業理念見学会」は武内プレス工業さんと打ち合わせして、次回委員会に最終企画案を提出することを決めた。次回委員会は6月10日に開催する。

## 総務委員会

### ■定例委員会

4月21日(木)、定例委員会を金井委員長はじめ委員9名の出席により、富山電気ビルで開催し、下記の第66回定時総会上程議案並びに理事会上程議案について審議をした。

- ① 2010年度事業報告
- ② 2010年度財務諸表承認の件

- ③ 2011年度事業計画(案)
- ④ 2011年度収支予算(案)
- ⑤ 一般社団法人移行に伴う新定款(案)
- ⑥ 新理事・監事選任の件
- ⑦ 新役員選任の件
- ⑧ 新常任理事選任の件
- ⑨ 新会員承認の件

いずれも事務局の説明に了承を受け、5月9日開催の定時総会・



理事会で審議されることとなった。

## 人事・労務政策委員会

### ■幹事会

4月26日(火)、幹事会を綿貫委員長ほか9名が出席して、富山経協・会議室で開催した。



今年度の委員会活動計画に基づき、

①委員会活動の活性化につながるための新委員の募集と、新研究会会員の募集について協議し、積極的に活動内容の周知に努め、委員の勧誘を行う。②会員企業の人事・労務管理に役立つ、情報提供を目的とした調査活動の充実を図るため、

従来からの「春闘調査」「賞与調査」「新卒採用調査」等に加え、今年度新たに「中途採用者、早期退職者などの実態調査」を行う。

③5月度定例委員会は、富山労働局から労働基準部長ならびに賃金室長を招き、今年度の労働基準行政についての解説と、労働基準法等を順守し是正勧告などを受けないようにするための注意点等を指導していただく。8月度定例委員会は、日本経団連より講師を招き、

昭和28年4月2日以降出生者は厚生年金の報酬比例部分の受給が段階的に引き上げられて、60歳以降の一定期間が無年金となるため、これに伴う企業負担がどのようになるのか、現状での動向について意見交換を行う。以上のことを決めた。

審議に先立ち、今般の東日本大震災を受け、北陸電力(株)より同社の志賀原子力発電所の更なる安全対策についての説明を受けた。

## 教育委員会

### ■2011年度新入社員講習会

4月4日(月)、2011年度新入社員講習会を、県内企業各社の新入社員173名の参加を得て、富山県市町村会館で開催した。

三菱レイヨン(株)片岡章夫取締役兼常務執行役員富山事業所長(当協会教育委員会副委員長)が挨拶の後、(株)石金精機 清水克洋代表取締役が「新入社員の皆さんに望む」と題して講演した。このなか



### 参加者NOTES

#### 教育委員会

## 「2011年度 新入社員講習会」を受講して

日本海ガス株式会社 朝倉 有人



今回の新入社員講習会では、企業人としての心構えや職場でのマナーについて県内の経営者や各界から4名の講師の先生方にお越しいただきご講話をいただきました。

(株)石金精機の清水社長がおっしゃった「社会では自らアピールしないと評価してもらえない」との言葉は、学生気分の抜けない我々にとって“はっ”とさせられる一言でした。これまでは、レポートやテストなど全員に平等に与えられていた評価の機会も、社会では一律ではないということを再認識したことで、清水社長からの問いかけに対し、自発的に発言する受

講者が増えた光景は非常に印象的でした。また、同氏は我々と年齢が近いこともあり「1年目だから…」、「まだ仕事もわからないから」と消極的にならず、どんどん社会にぶつかっていこうという勢いを与えていただきました。

次に、金城大学短期大学部 岡野教授からは、職場では常に笑顔を絶やさないと大切さ、その笑顔や挨拶にも様々な作法があること、その場に応じた振る舞いをするのが円滑な仕事につながることを教わりました。これらは誰でも今すぐに実践することのできるマナーであり、私もさっそく日々

の社会人生活で心がけてゆきます。

最後に松田マネジメント・アドバイザーからは、“リーマンショック”に始まり今回の“東日本大震災”など、我々が就職したこの時代背景を決して忘れることのないようにと第一声でいただきました。時代は時々刻々と移り変わります。しかし、お話を伺うなかで仕事をする上で重要な挨拶などの基本事項はもちろん、思考ロジックは普遍的なものであることを確信することができました。

いよいよ始まった社会人生活は約40年と、学生生活では経験したことのない長いスパンであります。そして、今講演で学んだことは全ての業界で通ずる社会の基礎であります。これから社会で経験することは全てが未知のもので戸惑うことも多々あるかと思いますが、その都度今回の講演(原点)に立ち返り日々邁進してまいります。

で、プロとして働くということについて、①第三者(お客様)に対して感動を与えられる②人並み以上に隠れた努力をしている③長くトップに立ち、結果を出している④周りの変化に対して自らも変化させているなど、事業活動の体験をまじえ、アドバイスした。

講演後、岡野絹枝金城短期大学教授から挨拶・言葉づかい・身だしなみなど、職場のマナー・ルー



ルの重要性について指導を受けた。①顔に明るさ②目に力がある③言葉に勢いがあることが重要であるとし、元気に振る舞うための三要

素について学んだ。

午後からは、不二越工業高校吹奏楽部顧問、情報機械科長の梅野毅教諭が「感動を生み出す音づくり～コミュニケーション力UPと生涯学習」と題し、体験にもとづく講義があった。松田勝明マネジメント・アドバイザーからは、企業人としての心構え、仕事を通しての自己実現などについて学んだ。

(「参加者NOTES」11頁掲載)

## 品質管理委員会

### ■定例委員会

4月20日(水)、定例委員会を町野委員長はじめ委員17名が参加して、富山経協・研修室で開催した。



2011年度は委員会活動のさらなる活性化を図るため、①定例委員会を5回に増やし、委員会後、グループディスカッションや見学会を行う、②講座の担当委員制の導入、③新たなセミナーとして経営トップミーティングの開催等の年間事業計画について、事務局より説明を行った。また、4月から開催している2講座の状況について、担当委員から説明があった。



会議の後、「技術・技能伝承」「製造・生産技術」「人材育成、教育訓練」のテーマについて、委員企業における取り組み状況や問題点等をグループディスカッションした。

### ■品質管理入門コース講座

品質管理入門コース講座は、QC七つ道具の使い方と品質管理の基本的な見方・考え方を学ぶことをねらいに、初めて品質管理を学ぶ人から、品質管理の導入を既に図っている人を対象に、毎年開講している。



第54回品質管理入門コース講座(4月開催)は、4月5日(火)から4日間の日程で、35名の受講者が参加し、富山経協・研修室を会場に開講し、4月26日に閉講した。

昨今の企業をとりまく厳しい環境の変化に対応するため、現場から管理部門に至るまで改善・改革活動が行われている等、企業を

げた改善活動の重要性が認識されてきており、参加者は真剣な態度で受講していた。

(「参加者NOTES」13頁掲載)

### ■品質工学実践講座

第17回品質工学実践講座を、4月15日(金)から10月14日(金)までの10日間の日程で、富山経協・研修室を会場に16名が参加して開講中である。



品質工学(タグチメソッド)は、技術のコンセプトの良否を的確かつ速やかに診断するために非常に有効な評価技術である。

この講座は、「品質」と「コスト」の目標を達成するために、少人数制の個別指導方式をとり、受講者が抱える問題、ひいては企業が抱える問題の解決に具体的に取り組んでいる。

## 環境委員会

### ■情報交換会

環境委員会では、例年「事例発表会」を開催し、3～4社から環境取り組み事例を発表してもらっている。参加者から、「小さな事実でもいいので、もっと具体的な



取り組みやどんな問題があったかなどの生の声を聞きたい」等の意見が多く寄せられ、それを受けて2011年度は今までの活動を改善し、事前に「情報交換会」を立ち上げ、その中で得られた具体的な環境取り組み事例を取りまとめて「事例発表会」で紹介することとした。参加メンバーの募集に、11名の申込みをいただいた。

第1回目の「情報交換会」は4月19日(火)、全メンバー11名が参加して富山経協・会議室において開催した。

メンバー自己紹介、メンバー企

業発行のCSR報告書の紹介、情報交換したい希望テーマの聞き取り等を行った。

次回以降、「省エネルギー」「廃棄物処理」「災害に対する備え」「従業員への環境教育」の4テーマを中心に情報交換することにした。



### 参加者 NOTES

品質管理委員会

## 「品質管理入門コース講座」を受講して

富士化学工業株式会社  
下田 智恵

細川機業株式会社  
稲垣 文夫



私は、医薬品会社の品質保証部に勤めています。日頃から品質管理の基本をより広く学びたいと思っていたため、受講を上司から薦められた際には是非と思いを希望しました。

講師の高橋先生からは、開講一番に「どんどん質問して下さい」と言われました。実際に講義後にも質問に時間を割いて下さるとても熱心な先生でした。

QC的な考え方では、「次工程をお客様と考えよう」、「事実に基づいて行動しよう」など当たり前のようで普段実践されていないことも多く、改めて意識を変えて行きたいと思いました。

また、統計的手法として「QC七つ道具」を用いた課題では、グループワークもありました。受講者同士で相談し合い、意見交換も活発でした。

本講座では品質管理の理論と実践の両方が学べ、どのような職場でも活用できると思います。初心者の方も、基本を復習したい方にもお勧めの講座だと思います。

講義は、QCとTQMの歴史・概要から始まり、品質管理を初めて学ぶ私にとって、分かりやすく受講しやすかったです。QC七つ道具のグラフは、データをそのまま見たのでは把握できない、そこで目で見て分かりやすく、全体の状況を早く知るためにグラフを作成しますが、本人しか理解できない作図では意味が無く、そのためにどのグラフを用いると良いか、どうすれば誰が見ても分かりやすいグラフになるか、色分け、線の種類などをどう考慮することが大切であるかという事が分かりました。

また、品質管理に限らず、あらゆる場面において問題解決をする時に大切なのが、このPDCAのサイクルを回すという事で、一回りして終わりではなく目標を達成するまで何度も回します。誰でも計画、実施まではするが、その後のチェック、処置が甘くなりがちだと思います。自分でも常日頃から心がけて習慣にしていけることが大事だという事を学びました。講義・演習を通してそれぞれの基本的な使用方法が理解できました。

# 会員の動き

(五十音順) (敬称略)

## ■ 代表者の変更

### 鈴木工業株式会社

代表取締役社長 杉谷 裕次 (前:永井正博)

### 住友生命保険相互会社 富山支社

支社長 古川幸一郎 (前:藤 秀壮)

### 株式会社 Dialectic

代表取締役社長 江幡 泰輔 (前:千葉弘樹)

### 富山小林製薬株式会社

代表取締役社長 秋月 健一 (前:山脇明敏)

### 株式会社 日産サテオ富山

代表取締役社長 牛飼 昇晃 (前:小林恭彦)

### 株式会社 ホライズンホテルズ富山ホテル事業所

(ANAクラウンプラザホテル富山)

ホテル支配人 久米 剛 (前:渡辺洋一郎)

## ■ 役職位の変更

### 立山製紙株式会社

代表取締役会長 池田 恒彦 (前:代表取締役社長)

### 株式会社 姫野精工所

代表取締役会長 姫野 貞夫 (前:代表取締役社長)

## ■ 社名の変更

### アステラスファーマテック株式会社 富山技術センター

富山業務企画部長 田村 正

(前:アステラス富山株式会社 富山工場)

代表取締役社長 中嶋欣治)

## ■ 所在地変更

### 北陸電気工事株式会社

〒939-8571 富山市小中269

(前:富山市東田地方町1-1-1)



表紙の花  
ユリノキ

ユリノキは、富山市の街路樹として植えられ、また、富山大学構内の並木として親しまれている北米原産のモクレン科の植物です。花がカップ状でチューリップに似ていることから、英語ではチューリップ・ツリーと呼ばれています。花は高い枝先に着くため、間近に、特に上から見たことのある人は少ないと思います。

写真のように6枚の花弁は明るい黄緑色でオレンジ色の模様があり、中には雄しべが数十本あり、真ん中に柱状の雌しべ群があります。これは100個近い雌しべがらせん状に並んだもので、秋にはたくさんの、翼をもった細長い果実ができ、やがてバラバラと風に乗って飛ばされ広がります。

葉は独特の形をしていて、袴纏(はんでん)のように見えることから別名をハンテンボクとも呼ばれます。もっとも、若い世代の人には袴纏という言葉が通じないかもしれません。

さて、ユリノキの仲間にはもう一種、シナユリノキという別の種類があって、中国の中南部からベトナム北部にかけて分布しています。花はユリ

ノキより小さく、花弁はくすんだ緑色を帯びて先が反り返らず、雌しべ群が先から突出し、地味な印象を受けます。ユリノキは明治の初めに日本に渡来し、今では広く公園樹や街路樹として見ることができますが、シナユリノキは中国の国家級保護植物に指定されている貴重種で、日本では珍しい植物です。

富山県中央植物園には、平成8年に正規の手続きを経て昆明植物研究所から導入したシナユリノキがあり、当時1m足らずの細い棒のようだった苗木は、現在では高さ10m、幹の直径20cmほどに成長し、毎年花を着けるようになりました。中央植物園の自慢の植物の一つです。園内には、ユリノキの大木もあるので、両種の花を見比べることができます。

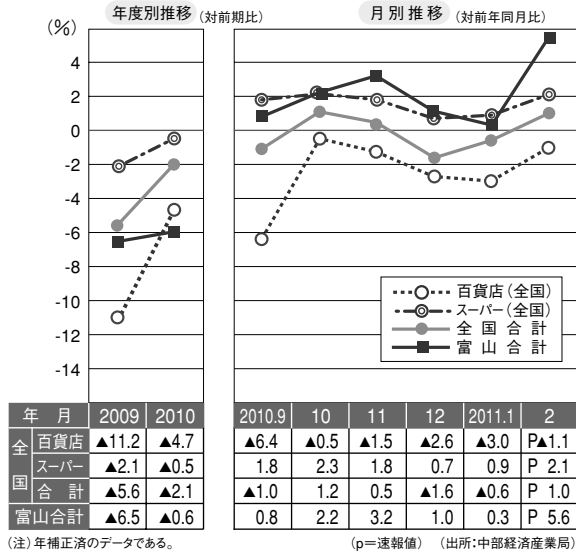
(富山県中央植物園 中田政司)



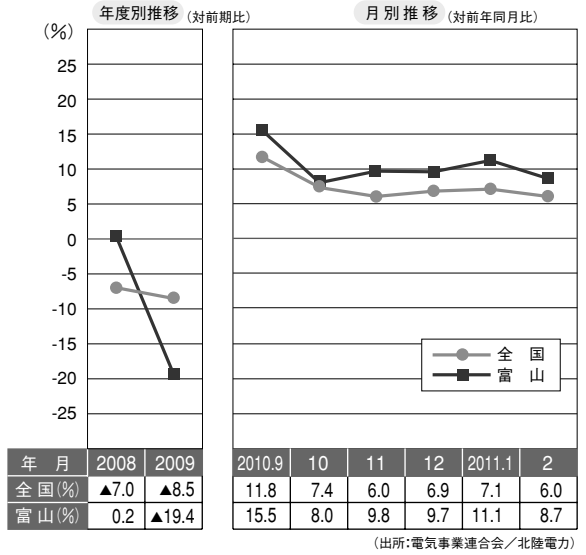
シナユリノキ

# 景況指標

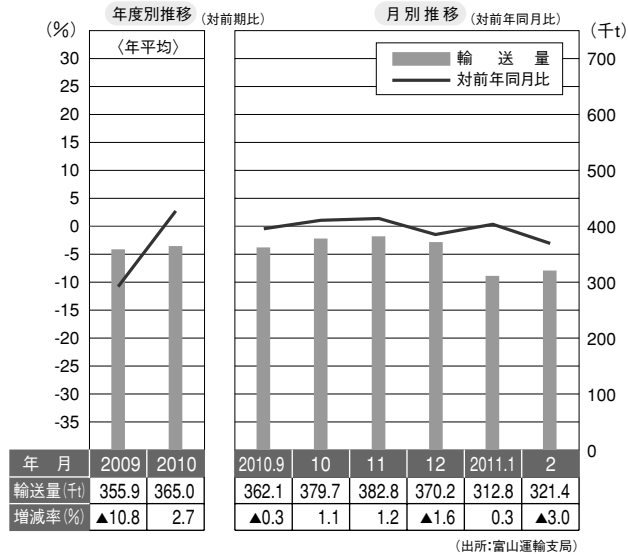
## ■百貨店・主要スーパーの売上高



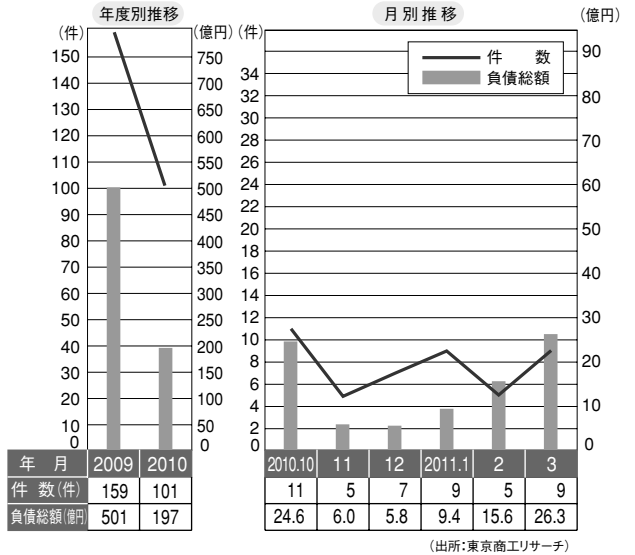
## ■大口電力消費量 (製造業計)



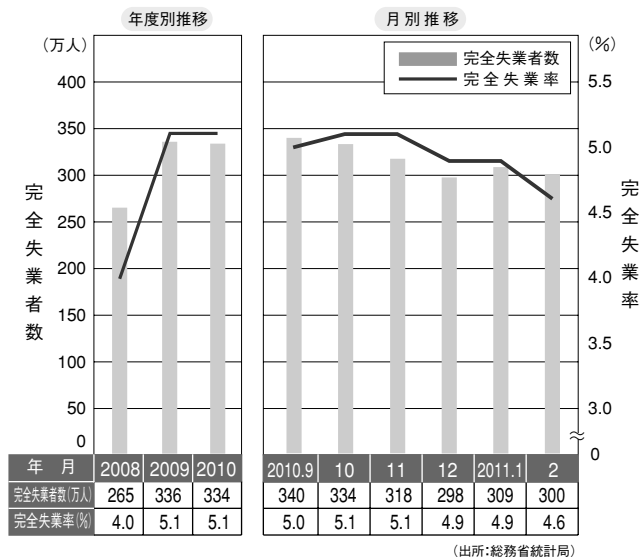
## ■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



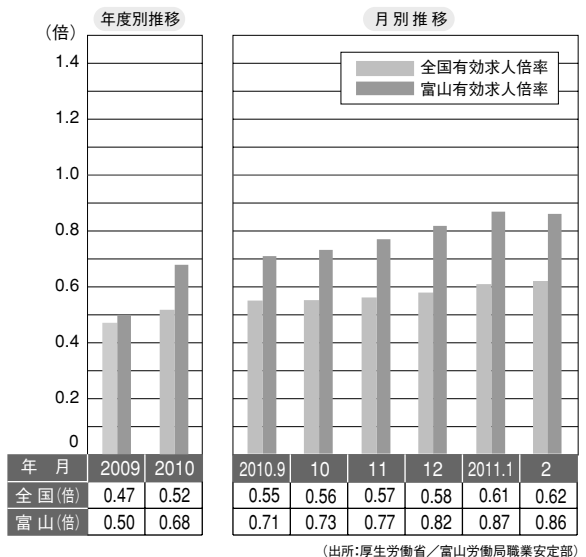
## ■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



## ■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



## ■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



## 労働法実務研修会 (第1回)

### 募集・採用・入社にかかわる法的留意点

- 日 時：6月22日(水) 13:30～16:00 第2回 9月16日(金) 弁護士 伊藤 昌毅  
場 所：富山商工会議所ビル9階 99号室 第3回は11月  
講 師：弁護士 伊藤 昌毅 第4回は1月に予定しています。  
受講料：会員 3,000円/会員外 16,000円 講師は木下潮音弁護士。

## 人事・労務管理セミナー (第2回)

### 管理職の皆様におくるメンタルヘルス実践対応セミナー

- 日 時：7月22日(金) 13:30～16:30 講 師：公益財団法人 日本生産性本部  
場 所：富山県経営者協会・研修室 メンタル・ヘルス研究所副所長  
今井 保次  
受講料：会員 9,000円/会員外 18,000円

## 部課長マネジメントコース講座

経営幹部の部課長として、企業のおかれた状況を正しく理解し、会社方針や自らの役割と責任を念頭におきながら、企業が抱える問題を中核となって解決する方法を、グループディスカッションを中心に実践的に学びます。異業種の部課長との相互交流・啓発も促進できます。

■開催日：7月6日(水)～8日(金) (2泊3日)

- 場 所：山田村交流促進センター  
講 師：玉川大学 工学部教授 小野 道照  
コーセル(株) 取締役会長 飴 久晴  
となみの工業(株) 代表取締役社長 棚邊 一雄  
〈グループディスカッション世話人〉 県内企業の品質管理部門管理者等  
受講料：会員 80,000円/会員外 100,000円

- 中堅幹部の意識づけ、マネジメント・管理能力のトレーニングに最適です。
- 本格的なグループディスカッションに定評があり、参画型研修として多くの受講者が手応えをつかんで修了します。
- これまで県内企業の経営者、幹部クラスが多数受講を経験しています。



## 中堅社員活性化コース＜2日間＞

- ・中堅リーダーを自覚し、職場改善の進め方と後輩指導の方法を学ぶ。
- ・自分の長所・強みを発見し、今後のキャリアアップを図る。
- ・各種ワークを通じて、他社の人との交流を深め、自己改革に活かす。

■日 時：6月7日(火)・8日(水) 9:30～16:30

場 所：富山商工会議所ビル9階 99号室

講 師：現代経営教育センター 代表 大塚 則弘

受講料：会員 20,000円／会員外 40,000円

## 「IE手法」による生産現場の改善コース

現場のムダとり・効率的なモノづくりの改善手法として有効なIE手法を学び、現場改善に適用できるように総合的に学ぶ。

- ・IEによるムダの見方・考え方・改善の進め方
- ・稼働分析
- ・工程の配置と物の流し方
- ・時間分析、動作分析

■日 時：6月16日(木) 9:30～16:30

場 所：富山商工会議所ビル9階 99号室

講 師：(社)中部産業連盟

上席主任コンサルタント 三木 素直

受講料：会員 12,000円／会員外 24,000円

## 2011年度 第一線管理監督者講座

3回シリーズです。第1回は係長主任対象と部課長対象に分かれています。

第1回 係長主任対象 7月13日(水) 「現場主義の確立と徹底～監督者の基本・行動とは何か～」  
部課長対象 7月14日(木) 「プロフェッショナル管理者を目指して～変化と創造～」

第2回 全管理監督者対象 7月21日(木) 「部下育成は誰の責任か」  
企業の実例発表：コーセル株式会社 管理部  
人財支援課長 大坪 晴樹

第3回 全管理監督者対象 7月28日(木) 「部下の信頼を得なければ、管理監督者でない」  
特別講演：(社)富山県経営者協会 副会長  
株式会社タカギセイコー 代表取締役社長 笠井 千秋

時 間：各日とも 9:30～16:00

場 所：富山商工会議所ビル 10階ホール

講 師：(社)日本産業訓練協会 MTPインストラクター 渡辺 和彦

受講料：(シリーズ) 会員 21,000円／会員外 42,000円

(各回) 〃 10,000円／ 〃 20,000円

## ◆ 西部地区会員懇談会 ◆

7月7日(木)

場所：ホテルニューオータニ高岡

17:40～18:40 ジャズライブ 出演 チャリート + カルテット

18:50～20:00 懇親会

(別途ご案内申し上げます)

## 行事予定

2011年5月15日～7月31日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)  
「講座・講演案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考
会 議	5月17日(火)	16:00～18:00	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	6月10日(金)	11:00～12:00	富山県自衛協会 定期総会		富山経協・研修室	
	6月10日(金)	16:30～18:00	経営特別委員会	経営特別	富山経協・会議室	
	6月13日(月)	14:00～	教育委員会 研究部会	教育	富山経協・研修室	
	6月13日(月)	16:30～	教育委員会「定例委員会」	教育	富山経協・研修室	
	7月7日(木)	17:00～17:30	政策委員会		ホテルニューオータニ高岡	
	7月7日(木)	17:40～20:00	西部地区会員懇談会		ホテルニューオータニ高岡	上記おしらせ参照
	7月14日(木)	未定	北陸三県経営者協会正副会長会議		福井県	
セ ミ ナ ー ・ 講 座	5月12(木)、19(木)、25日(水)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計の手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室	
	5月16・17日(月・火)	9:30～16:30	営業力基礎コース	教育	富山商工会議所ビル	
	5月19日(木)	9:30～16:00	ビジネス・マナー習得コース	教育	富山商工会議所ビル	
	5月20日(金)	9:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	
	5月24日(火)	9:30～16:00	人事・労務管理セミナー(第1回)	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	6月2、9、16、23、30日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計の手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室	
	6月7・8日(火・水)	9:30～16:30	中堅社員活性化コース	教育	富山商工会議所ビル	17頁INFORMATION参照
	6月16日(木)	9:30～16:30	「IE手法」による生産現場の改善コース	教育	富山商工会議所ビル	17頁INFORMATION参照
	6月17日(金)	9:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	
	6月22日(水)	13:30～16:00	労働法実務研修会(第1回)	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	16頁INFORMATION参照
	6月22日(水)	16:30～18:30	労働法関連法制研究部会(第1回)	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	7月1、29日(金)	9:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	
	7月6～8日(水～金)	9:00～14:30	部課長マネジメントコース講座	品質管理	山田村交流促進センター	16頁INFORMATION参照
	7月13日(水)	9:30～16:00	第1回第一線管理監督者講座(係長・主任クラス)	教育	富山商工会議所ビル	17頁INFORMATION参照
	7月14日(木)	9:30～16:00	第1回第一線管理監督者講座(部課長クラス)	教育	富山商工会議所ビル	17頁INFORMATION参照
	7月14、28日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計の手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室	
	7月21日(木)	9:30～16:00	第2回第一線管理監督者講座	教育	富山商工会議所ビル	
7月22日(金)	13:30～16:30	人事・労務管理セミナー(第2回)	人事・労務政策	富山経協・研修室	16頁INFORMATION参照	
7月28日(木)	9:30～16:00	第3回第一線管理監督者講座	教育	富山商工会議所ビル		

「富山経協」vol.794

2011年(平成23年)5月号  
2011年5月15日発行(隔月〈奇数月〉15日発行)

社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール [info@toyama-keikyo.jp](mailto:info@toyama-keikyo.jp)